

## 第4章 県民の皆さんへのメッセージ

青少年を健全に育成するためには、家庭や学校のみならず、地域、企業、行政が連携・協力し、社会が一丸となって取り組んでいくことが大切です。

青少年の問題は、大人社会が抱える様々な問題を反映しており、大人の意識や行動が青少年に大きな影響を与えます。まずは、大人自身が自分の行動や言動を振り返ってみましょう。そして、一人ひとりがそれぞれの立場で青少年の育成についてできることから実践し、互いに支え、助け合いながら、次代を担う青少年を育んでいきましょう。

### 1 青少年の皆さんへ

このプランの主役は、青少年の皆さん自身です。人は、それぞれ個性を持っています。まず、自分自身を大切にしながら相手のことを尊重することが大切です。次代を担う青少年の皆さんが、互いの多様性を認め、思いやりの心を持って自立した大人として成長していくことを、すべての県民の皆さんが願っています。周りの助けも借りながら、できることから取り組みましょう。

#### ＜学童期（6歳～12歳）＞

- 提案1 早寝・早起きをして、朝ごはんをしっかりと食べましょう
- 提案2 きちんとあいさつしましょう
- 提案3 家では手伝いを、外では仲間と元気に遊びましょう
- 提案4 本を読みましょう
- 提案5 相手の話を良く聞き、自分の意見をきちんと伝えましょう
- 提案6 世界の人々の暮らしや文化に対して関心を持ちましょう
- 提案7 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して、家庭でルールを作り、作ったルールを守りましょう

#### ＜思春期（12歳～18歳）＞

- 提案1 自分を大切にするとともに、相手のことを尊重し互いの多様性を認め、思いやりの心を持ちましょう
- 提案2 相手の話を良く聞き、自分の意見をきちんと伝えましょう
- 提案3 自分の言動に責任を持ち、社会のルールを守って行動しましょう
- 提案4 夜更かしを避け、睡眠時間を確保しましょう
- 提案5 読書をしましょう
- 提案6 積極的に地域の行事に参加しましょう
- 提案7 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して、家庭でルールを作り、作ったルールを守りましょう
- 提案8 外国語をしっかりと学び、世界の人々と積極的に交流しましょう

提案9 課題に対して、まず自分でしっかりと考え、その上で、多様な価値観を持つ人とお互いに理解し合い、力を合わせ、課題解決に取り組みましょう

提案10 失敗を恐れず、夢や目標を持ち、その実現に向けて努力しましょう

#### ＜ 青年期（18 歳～30 歳）＞

提案1 失敗を恐れず、夢や目標を持ち、その実現に向けて努力しましょう

提案2 社会の一員として、積極的に地域社会に関わりましょう

提案3 国際的な広い視野を持ち、世界の人々と積極的に交流しましょう

## 2 保護者の皆さんへ

家庭はすべての教育の出発点です。子どもは、家庭でのふれあいを通して、基本的な生活習慣、他人に対する思いやり、善悪の判断、自立心や社会的なマナーなどを身に付けていきます。

子どもと一緒に時間を大切にしながら、できることから取り組んでいきましょう。

そして、戸惑いや行き詰まりを感じる事があったら、抱え込まずに周囲の助けを借りましょう。地域には、保護者の皆さんの頑張りを支え、応援する取組がたくさんあります。気軽にこうした取組を活用しましょう。

提案1 乳幼児期は、スキンシップや語りかけをしっかりと行いましょう

提案2 睡眠の重要性を親子で共有し、早寝・早起き・朝ごはんの習慣をきちんと身に付けさせましょう

提案3 子どもに向き合い、しっかりと話を聴きましょう

提案4 子どもが持っている良さや伸びを見つけ、積極的にほめましょう

提案5 良いこと、悪いことをしっかりと教えましょう

提案6 お手伝いをする機会をつくりましょう

提案7 子どもが欲しがると同時に、物を与えないようにしましょう

提案8 ゲームやスマートフォン、SNSの使用に関して家庭でルールを作りましょう

提案9 仲間と外でしっかりと遊ばせましょう

提案10 子どもは親を見ています。自分の行動や言動をふり返りましょう

提案11 子どもが成長の過程でつまずき、失敗したとしても、立ち直ることができるよう、寛容な心で接することを心がけましょう。

提案12 家庭の役割を再認識し、親子のふれあいや絆を大切にしましょう

提案13 子育てに悩んだら、抱え込まずに周囲の助けを借りましょう

### 3 地域の皆さんへ

青少年を地域社会全体で育てていくという視点に立ち、地域の皆さんも社会の一員として積極的に青少年の育成に関わっていくことが求められています。

地域の皆さんだけでなく、青少年育成団体やNPO法人など関係団体の皆さんとも連携して、青少年の健全な育成をめざす地域社会づくりを進めましょう。

- 提案1 地域の子どもの生活や活動に関心を持ちましょう
- 提案2 地域の子どもたちの良い行為はしっかりほめましょう
- 提案3 地域の子どもたちが善くないこと、危ないことをした時は、諭しましょう
- 提案4 子どもたちがみんなで元気に楽しく遊ぶことができるような地域をつくりましょう
- 提案5 子どもに関わる地域活動に積極的に参加しましょう
- 提案6 子育て中の親や家庭を地域で助け合いながら、サポートしましょう
- 提案7 子どもたちが安全に遊び、活動できるように、子どもたちを見守りましょう
- 提案8 大人自身が自分の行動や言動をふり返りましょう
- 提案9 地域の大人同士、交流を豊かにしましょう
- 提案10 人生の先輩として、自分の経験や夢を語りましょう
- 提案11 子どもたちが成長の過程でつまずき、失敗したとしても、立ち直ることができるよう、寛容な心で接することを心がけましょう。

### 4 企業の皆さんへ

企業は、その経済活動のみならず、地域社会の一員として、青少年の育成に対する取組が期待されています。

地域の青少年を健全に育成することは、将来、企業を支える人材を育成することにもつながります。

また、従業員が子どもと向き合う時間を確保する上でも、働き方改革を通じたワーク・ライフ・バランスの実現が求められています。

- 提案1 仕事と家庭の両立可能な職場づくりに努めましょう
- 提案2 従業員が地域活動やボランティア活動、PTA活動等に積極的に参加できるように配慮しましょう
- 提案3 従業員をゲストティーチャーとして派遣するなど学校と積極的に関わりましょう
- 提案4 職場見学や職業体験を受け入れ、働くことの素晴らしさを青少年に伝えましょう
- 提案5 国際的な広い視野や、志を持つ青少年の育成に積極的に関わりましょう
- 提案6 青少年を健全に育成するためにも、企業モラルの向上に努めましょう